

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

九州大学

前期日程

科目

日本史

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

古代から近現代までの大問4題。語句記述・記号選択・論述（25～90字ほか）などの形式がある。内容は、政治・外交・文化・経済と幅広い。語句記述はおおむね教科書レベルの標準的なものであった。例年どおり、基本知識とともに史料の読解力を必要とする論述問題が出題されていた。

〈特記事項・トピックス〉

〔2〕では、図版資料を踏まえた90字の論述問題が出題された。〔2〕〔3〕〔4〕では、史料の読解を必要とする論述問題が出題された。〔4〕では、指定語句を用いた80字の論述問題が出題された。

〈合格への学習対策〉

教科書を中心にした丁寧で確実な学習を心掛けたい。教科書に掲載されている資料については文字史料であれ絵画や写真資料であれ、それがいつの時代のもので何を表しているのかをしっかりと確認しておく必要があるだろう。また、論述問題は難解なのでその対策は欠かせない。簡潔に説明する力を養成するためにも、日頃から訓練を積んでおくなくては本番で対応できないので、夏期・冬期の講習においても積極的に論述対策の講座を受講してほしい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	分野・テーマ(表題)	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
〔1〕	記述 論述	奈良・平安時代の政治	論述では、坂上田村麻呂の征夷や摂政の職務について説明する問題が出題された。	標準
〔2〕	記述 論述 年代配列	宇佐神宮の経済基盤について	図版：「豊前国宇佐宮之図」「宇佐八幡大神宮絵図」 史料：唐招提寺蔵「八幡善法寺文書」 論述では、図版を参考にして宇佐宮と弥勒寺の関係の変化を説明する問題や、史料の内容を説明する問題が出された。	難
〔3〕	記述 論述	近世における国際環境とその影響	史料：「調所広郷履歴」 論述では、史料にもとづき、調所広郷の改革の内容を説明する問題が出された。	やや難
〔4〕	記述 選択 論述	大日本帝国の版図	史料：「日本外交文書並主要文書」 論述では、指定語句を用いて日本の山東省支配を説明する問題や、史料を参考にして委任統治制度を説明する問題が出された。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。